

令和7年度

「運営に関する計画」

大阪市立高殿南小学校

大阪市立高殿南小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では、教職員自身が学び続ける力を付けること（資質の向上）を基本姿勢として臨み、教育振興基本計画をふまえ、学力及び体力の向上、思いやりや志の醸成、健康な心身の育成を図ってきた。令和5年度末に大阪市教育振興基本計画に掲げる目標を（施策目標）を達成するための年度目標の設定を見直し、令和6年度の教育活動を進めた。中期目標は令和7年度末までの成果目標となっており、本年度は最終年度となる。

「安全・安心な教育の推進」は、令和5年度末において、スマートフォンを使用しての動画視聴やゲームの時間が長いことが課題として浮き彫りとなった。そこで「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均どのくらい SNS, 動画視聴、ゲーム等をしていますか」の大阪市独自調査に対して3時間以上と回答する児童の割合を50%以下にするとした。4月8日時点で市調査の結果が出てはいないが、高学年において、視聴が長い傾向は伺える。

また、小学校学力経年調査の質問紙の「いじめは、どんな理由があつてもいけないことがありますか」という項目に対し、令和6年度の本校は89.2%であり、本市が令和7年度までに目指す90%の目標にはわずかに達していない。

未来を切り拓く学力・体力の向上」については、本校の児童は、令和6年度の3年生から6年生対象の大阪市小学校学力経年調査において全学年で全教科とも大阪市の平均を上回った。授業の中で、ホワイトボードを活用し、個の考えを可視化し、多くの児童が授業中に話し合いで、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた。またICT機器を積極的に活用した授業の工夫も多く行ってきた。今年度は、小学校経年調査における算数科に課題の見られる児童の割合を昨年度より減少させることを目指す。

また、大阪市小学校学力経年調査の質問紙において、「運動やスポーツをすることが好きか」という項目においてまだ令和7年度までの本市目標の62.6%には届いてはいるが、研究教科を令和6年度、7年度と体育に設定した本校は令和6年度は75%目標に対し、73.5%と目標に届いていないので、本年度も75%を目標とし、体育の研究に取り組んでいく。

「学びを支える教育環境の充実」において、本校はICT機器の使用率が上がってきているが、令和7年度の目標として、本市が設定する「授業日において、児童生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の半数を超えた学校の割合が、目標の75%には届いていない。引き続き取り組みを進めていく。また、学力の基礎・基本を担う読解力の育成のため読書は大切な活動となる。語彙力を高め、読解力をつけ、想像力が膨らみ、表現力へつなげ、学力の向上へと結びつける。そこで、小学校学力経年調査における「読書は好きですか？」に対して、肯定的に回答する児童の割合を本年度よりも向上させる。

中期目標

【安心・安全な教育の推進】

○本市調査における「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらいSNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか。」に対して、3時間以上と回答する児童の割合を20.5%以下にする。

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。

○本市調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を58%以上にする。

○小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。

○小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント減少させる。

○小学校学力経年調査における、国語の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント減少させる。

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える児童の割合を74%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の75%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕

○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を73%以上にする。

○小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安心・安全な教育の推進】

年度目標

○本市調査における「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらいSNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか。」に対して、3時間以上と回答する児童の割合を11.3%以下にする。(R5 72.2%) (R6 11.4%)

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。(R5 86.4%) (R6 89.2%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

年度目標

○小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント減少させる。(R5 9.1ポイント) (R6 5.7ポイント)

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える児童の割合を75%以上にする。(R5 74.0%) (R6 73.5%)

【学びを支える教育環境の充実】

年度目標

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業日の75%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕
(R6 55.2%)

○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を73%以上にする。(R5 72.2%)

○小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。(R5 78.3%) (R6 82.3%)

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立高殿南小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【3つの最重要目標】 【安心・安全な教育の推進】</p> <p>年度目標</p> <p>○本市調査における「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらいSNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか。」に対して、3時間以上と回答する児童の割合を11.3%以下にする。(R5 72.2%) (R6 11.4%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいいことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。(R5 86.4%) (R6 89.2%)</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①（基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年の児童の実態に応じて、スマートフォンの正しい使い方を知るための学習をする機会を設ける。 保護者に対しては、スマートフォンを利用したSNS、動画視聴、ゲーム等を長時間することで生じる心身への悪影響や学習面への影響などを啓発する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> スマートフォン等の適切な使い方についての授業を学期に1回は行う。 学年だより、校内の掲示物などを用いた学級懇談会を年に1回以上行い、保護者への啓発を図る。 	
進捗状況	
今後の改善点	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道徳科や学活の時間を中心に、自尊感情を育むための学習や他人を思いやる学習などを継続的に進める。 学級指導の際や適切な機会に、いじめの悪質さや思いやりや支えあいの大切さについて考える時間を確保する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材を読む際は、自分のこととして考えよう助言し、毎回話し合いを取り入れた学習活動を行う。 心の天気を毎日継続して入力させ、その結果を確認するとともに、結果に応じて聞き取りや話し合いをする。 	
進捗状況	
来年度への改善点など	

大阪市立高殿南小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【3つの最重要目標】 【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>年度目標</p> <p>○小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント減少させる。(R5 9. 1ポイント) (R6 5. 7ポイント)</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える児童の割合を75%以上にする。(R5 74. 0%) (R6 73. 5%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①（基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上）</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着と向上を図る。 各児童の課題に応じた指導形態（習熟度別学習や少人数指導など）を工夫する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年に応じた学習プリントやデジタルドリルなどのICT機器を活用し、算数が楽しく学べるような工夫をする。 4年生以上で毎单元、習熟度別学習や少人数指導、T1T2を活用した指導を取り入れる。 <p>進捗状況</p> <p>来年度への改善点など</p>	
<p>取組内容②（基本的な方向5 健やかな体の育成）</p> <p>児童の体力や意欲向上につながるよう体育の授業を工夫するとともに、定期的に体育的行事を設定し、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようとする。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に答える児童の割合を80%以上にすることを目指す。 全学年において、運動に対しての研究授業を実施し、運動の楽しさや喜びを味わわせる指導を追及する。 教員を対象とした体育研修会を年に2回以上実施し、教員の指導力向上を図る。 ミナミンピック等の体育的行事を学期に1回以上設定し、運動に親しむ場を提供する。 トップアスリートの招聘や体力サポート事業を活用し、運動への意欲付けを行う。 <p>進捗状況</p> <p>今後の改善点など</p>	

(様式2)

大阪市立高殿南小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかった	B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【3つの最重要目標】 【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>年度目標</p> <p>○授業において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の75%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕(R6 55.2%)</p> <p>○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を73%以上にする。(R5 72.2%) (R6 72.2%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。(R5 78.3%) (R6 82.3%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①（基本的な方向6 教育DX[デジタルトランスフォーメンション]の推進）</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業において、学習者用端末でのスクールライフノート・SkyMenu・タイピング・インターネット検索・カメラ・QRコード・プログラミング・NHK for School視聴・デジタルドリル・Teams・Forms・canvaなどの児童の主体的な活用を図る。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業において、1日に1回以上、児童が学習者用端末を活用できる場を設定する。 <p>進捗状況</p> <p>今後の改善点など</p>	
<p>取組内容②（基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現をめざし、時間外勤務時間の減少を図る。 <p>取組内容③（基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり）</p> <p>仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現をめざし、時間外勤務時間の減少を図る。</p> <p>進捗状況</p> <p>今後の改善点など</p>	

取組内容③（基本的な方向 8 生涯学習の支援）

学校図書館の整備（蔵書の整理、データベース化など）、学級文庫の整理に努めるとともに、児童の学校図書館を活用した学習・読書活動を推進する。

指標

- ・児童が読書に興味が持てるように「読み聞かせ」や「読書カードの活用」、「図書館開放への付き添い」など、学期に1回以上、積極的に働きかける。

進捗状況

今後の改善点など